Roland

GUITAR AMPLIFIER

JAZZ CHORUS JC-120

取扱説明書

このたびはローランド・ギター・アンプ　ジャズコーラス JC-120 をお買い上げいただき、ありがとうございます。製品を末永く愛用していただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。

特長

- 重厚で広がりのあるサウンドが得られるコーラス効果、柔らかみのある独得なビブラート効果を備えた入力 2 チャンネル、ステレオ出力 120W のギター・アンプです。
- ギターの出力レベルに応じて入力レベルを選択できます（ハイ・ゲイン、ロー・ゲイン）。
- チャンネル 1、2 のそれぞれにブライト・スイッチを装備し、より豊かなトーン・セッティングが楽しめます。
- スプリング 3 本方式のスプリング・リバーブ・ユニットを搭載、クリアーな残響効果が得られます。
- エッジ部に硬質ファイバーとコーナー部にポリプロピレン製プロテクターを使用し、重量感のあるルックスと堅固なガードを実現しています。
- フット・スイッチを使って、コーラス／ビブラート、リバーブ、ディストーションのオン／オフができるのでライブ演奏に威力を発揮します。
- チャンネル 2 にシリーズ接続、パラレル接続の選択ができるエフェクト・ループ回路を搭載。また、接続機器の入出力レベルに応じて +4dBu と -20dBu のレベル切り替えができるので便利です。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.2）と「使用上のご注意」（P.4）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、この取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意
感電の恐れあり
キャビネットをあけるな

注意： 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⃠は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⃠の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

- この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

- この機器を分解したり、改造したりしないでください。

- 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

- この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

⚠警告

- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
  - 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
  - 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
  - 雨に濡れる場所
  - ホコリの多い場所
  - 振動の多い場所

- 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

⚠警告

- この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

- この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

- 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。
  - 電源コードやプラグが破損したとき
  - 煙が出たり、異臭がしたとき
  - 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
  - 機器が（雨などで）濡れたとき
  - 機器に異常や故障が生じたとき

- お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

- この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

- 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

- 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

- 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠注意

- この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

- 電源コードをコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持ってください。

- 定期的に電源プラグを抜き、乾いた布でゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。電源プラグとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。

- 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

- この機器を設置するときや車に積むときなど、動くと危険な場合は、すべてのキャスターをはずしてください。

- この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

- 濡れた手で電源コードのプラグを持って、コンセントに抜き差ししないでください。

- この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

- お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください。

- 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

使用上のご注意

2～3ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

- 電源スイッチを切った後、本機上の LED などは消えますが、これは主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。

- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。

- 携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。

- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。

- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。

- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。

- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。

- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては本機のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
  ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。

- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。

- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。

- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。

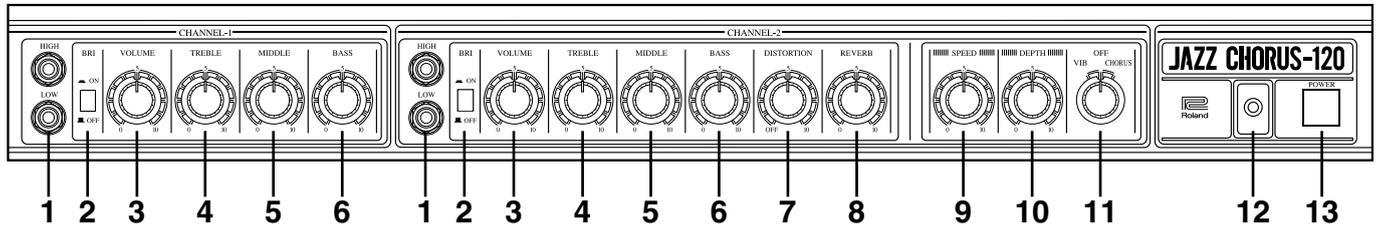
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。

- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。

- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各市町村のゴミの分別基準に従って行ってください。

- 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、まったく聞こえなくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合、ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

各部の名称と働き

フロント・パネル

1. インプット・ジャック

ギターの出力レベルに応じ、ハイ（HIGH）かロー（LOW）に接続します。通常は、ハイに接続します。特に出力が大きいギターの場合は、ローに接続します。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。

※ 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、インプットに接続した機器の音量が小さくなることがあります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブル（ローランド：PCS シリーズなど）をご使用ください。

2. ブライト・スイッチ

スイッチをオンにすると、より歯切れの良い音が得られ、ハードな音質になります。

3. ボリューム

右にまわすほど、音量が大きくなります。

4. トレブル

右にまわすほど、高域が強調されます。

5. ミドル

右にまわすほど、中域が強調されます。

6. ベース

右にまわすほど、低域が強調されます。

7. ディストーション

右にまわすほど、音が歪みます（ディストーション効果）。オフ（OFF）にするとディストーションがかかりません。

8. リバーブ

右にまわすほどリバーブ（残響）の音量が大きくなります。

9. ビブラート・スピード

右にまわすほどビブラート効果の周期が速くなります。

10.ビブラート・デプス

右にまわすほどビブラート効果が深くかかります。

11.コーラス／ビブラート切り替えスイッチ

コーラス効果とビブラート効果の切り替えをします。オフ（OFF）にすると、どちらの効果もかかりません。

※ コーラス効果のスピード、デプスは変えられません。

12.パイロット・ランプ

電源をオンにすると点灯します。

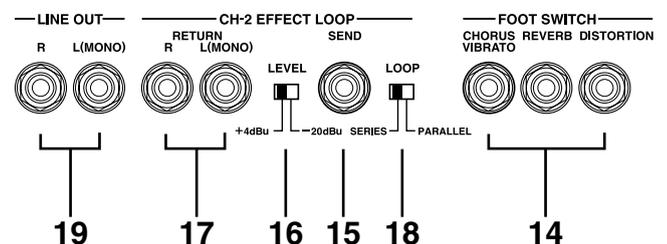
13.電源スイッチ

電源をオン／オフします。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。また、電源をオン／オフすると音が出る場合があります。

※ この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。詳しくは**電源について**（P.4）をお読みください。

リア・パネル

14.フット・スイッチ・ジャック

フットスイッチを接続すると、コーラス／ビブラート、リバーブ、ディストーションをそれぞれオン／オフできます。

※ このフットスイッチをオンにしても、つまみ **7** や **11** がオフ（OFF）になっているとエフェクトがかかりませんので注意してください。

15.CH-2 エフェクト・ループ・センド・ジャック

外部のエフェクターへ生音（エフェクトが付かないドライ音）を送り出すジャックです。

16.CH-2 エフェクト・ループ・レベル・スイッチ

エフェクト･ループの入出力レベルを切り替えます。接続機器の入出力レベルに応じて +4dBu と -20dBu を切り替えて下さい。接続機器の入出力レベルが高い場合は +4dBu に設定し､低い場合は -20dBu に設定します。

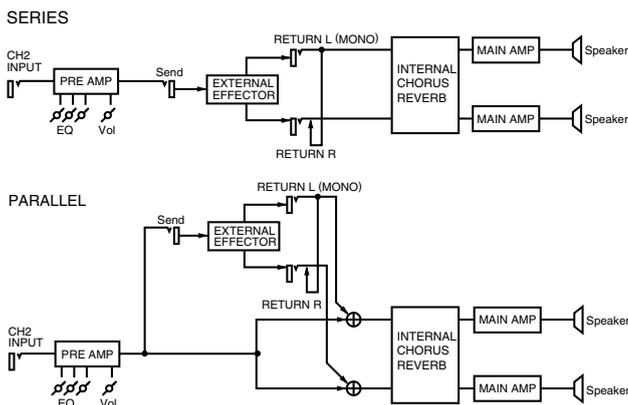
17.CH-2 エフェクト・ループ・リターン・ジャック

外部エフェクターからの戻り（リターン）の音を入力するジャックです。エフェクト･ループ･リターン･ジャックには、L ／ R の 2 つの入力がありステレオ対応となっています。なお､モノラルで使うときは、L 側のジャックを使ってください。

※ モノラルで使う場合、リターン音をリターン･ジャック R に入力しても、リターン音はスピーカーから出力されませんので注意してください。このように L 側のジャックを使っていないときは、ループ･スイッチが PARALLEL、SERIES のどちらであっても、生音だけが出力されます。

※ リターン･ジャックへの接続は電源を切ってから行ってください。

18.CH-2 エフェクト・ループ・スイッチ

エフェクト･ループ回路で、シリーズ接続とパラレル接続を切り替えます。
PARALLEL にすると、外部エフェクト音と生音（エフェクトが付かないドライ音）がミックスされます。
SERIES にすると､外部エフェクト音は生音とミックスされません。

19.ライン・アウト・ジャック

他のギターアンプのライン･インやミキサーに接続したり、テープ･デッキに接続して録音するときに使います。なお、モノラルで使うときは L（MONO）に接続してください。

電源の投入

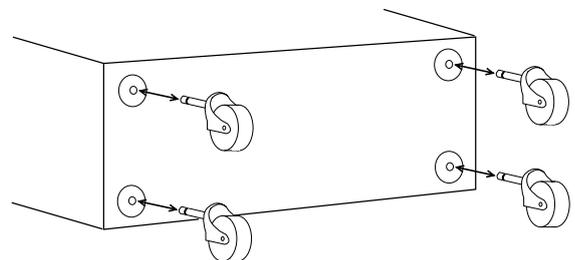
※ 電源を投入するときは、必ず次の手順に従ってください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

※ 音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っても、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. ライン･アウト･ジャック（19.）以外に接続されている機器の電源を入れてください。
2. JC-120 の電源を入れてください。
3. 最後にライン･アウト･ジャックに接続されている機器の電源を入れてください。

※ この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

キャスターの脱着について

工場出荷時には、キャスターを取り外してあります。キャスターは下図のように脱着できます。

主な仕様

出力	120 W（60 W＋60 W）／8 Ω ＋8 Ω
スピーカー	30 cm＋30 cm
電源	AC100V（50 ／60 Hz）
消費電力	110W
入力レベル／入力インピーダンス	-30 dBu ／680 kΩ
接続端子	CH-1 インプット（ハイ／ロー） CH-2 インプット（ハイ／ロー） フット・スイッチ（コーラス／ビブラート、リバーブ、ディストーション） CH-2 エフェクト・ループ・センド・ジャック CH-2 エフェクト・ループ・リターン・ジャック（L ／ MONO、R） ライン・アウト・ジャック（L ／ MONO、R）
コントロール	CH-1： ブライト、ボリューム、トレブル、ミドル、ベース CH-2： ブライト、ボリューム、トレブル、ミドル、ベース、ディストーション、リバーブ、ビブラート・スピード、ビブラート・デプス、コーラス／ビブラート切り替えスイッチ 電源スイッチ、CH-2 エフェクト・ループ・スイッチ、CH-2 エフェクト・ループ・レベル・スイッチ
外形寸法	760（W）× 280（D）× 622（H）mm（キャスター含む）
質量	28 kg（キャスター含む）
付属品	取扱説明書、保証書
別売品	フット・スイッチ：FS-5L（BOSS）

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※（0 dBu ＝0.775 V）

お問い合わせの窓口

● ローランド製品全般に関するお問い合わせ先
デジタル・ピアノ、シンセサイザー、デジタル・レコーダー、BOSSエフェクターなど

お客様相談センター **050-3101-2555**

● コンピューター・ミュージック関連製品に関するお問い合わせ先
オーディオ＆MIDIインターフェース、DTM音源モジュール、DTMソフトウェアなど

DTMホットライン **050-3101-2570**

電話受付時間： 午前10時〜午後5時（日曜および弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● 修理に関するお問い合わせ先
商品をお求めの販売店か、保証書封筒裏面にある「修理の窓口」（サービスの窓口）に記載のサービスステーションへご相談ください。

● 最新サポート情報
製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ **http://www.roland.co.jp/**

'06. 11.01 現在

取扱説明書の英語版（有料）をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。

If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

ローランド株式会社

02233590　07-02-6N